

2025 年度シラバス

科目分類/Subject Categories			
学部等/Faculty	/工芸科学部/工芸科学部 : /School of Science and Technology/School of Science and Technology	今年度開講/Availability	/有/有 : /Available/Available
学域等/Field	/全学共通科目/全学共通科目 : /Program-wide Subjects/Program-wide Subjects	年次/Year	/1 年次/1 年次 : /1st Year/1st Year
課程等/Program	/基盤教養科目/人間教養科目(2023 年度以前入学者) : /Liberal Arts/Liberal Arts(Course for students enrolled before 2023 academic year)	学期/Semester	/前学期/後学期 : /First term/Second term
分類/Category	//基本教養 : //Foundations in Liberal Arts	曜日時限/Day & Period	/月 4 : /Mon.4

科目情報/Course Information				
時間割番号 /Timetable Number	10111410			
科目番号 /Course Number	10160289			
単位数/Credits	2			
授業形態 /Course Type	講義 : Lecture			
クラス/Class				
授業科目名 /Course Title	医療と社会 : Medical Sociology			
担当教員名 / Instructor(s)	/(笠井 敬太) : KASAI Keita			
その他/Other	インターンシップ実施科目 Internship	国際科学技術コース提供科目 IGP	PBL 実施科目 Project Based Learning	DX 活用科目 ICT Usage in Learning
	実務経験のある教員による科目 Practical Teacher			
科目ナンバリング /Numbering Code	B_PS1250			

授業の目的・概要 Objectives and Outline of the Course	
日	本科目は三大学教養教育共同化科目として開講される。この講義では、受講生は医療社会学の概念や考え方を学ぶことを通して、医療や医療にまつわる問題を社会学の視点から捉えることを目的とする。 前半の講義では、医療社会学の重要な概念を様々な事例とともに理解する。 後半の講義では、受講生は前半の講義で身につけた医療社会学の視点を踏まえ、現代社会における医療にまつわる問題の構造や背景について学ぶ。
英	

学習の到達目標 Learning Objectives	
日	講義を通して身につけた医療社会学の知識をもとに自ら思考し、社会学の視点から医療にまつわる事柄を捉えることができる。 受講者は、医療社会学の思考法を自らの直面する課題に取り組むことができる。 医療社会学の視点や思考法を今後の社会生活に役立てることができる。 医療行為の対象となる人間の社会生活について考えることができる。 現代社会におけるさまざまな事象・現象を医療との関連から捉えることができる。
英	

学習目標の達成度の評価基準 / Fulfillment of Course Goals (JABEE 関連科目のみ)
--

日	
英	

授業計画項目 Course Plan			
No.		項目 Topics	内容 Content
1	日	第 1 回 オリエンテーション (オンデマンド)	前半(1～7回)は、医療社会学の重要概念について、理論と具体例を交えながら講義を行う。
	英		
2	日	第 2 回 意味付けとしての病	前半(1～7回)は、医療社会学の重要概念について、理論と具体例を交えながら講義を行う。
	英		
3	日	第 3 回 病人役割・病気行動	前半(1～7回)は、医療社会学の重要概念について、理論と具体例を交えながら講義を行う。
	英		
4	日	第 4 回 医療化論	前半(1～7回)は、医療社会学の重要概念について、理論と具体例を交えながら講義を行う。
	英		
5	日	第 5 回 医療技術と倫理	前半(1～7回)は、医療社会学の重要概念について、理論と具体例を交えながら講義を行う。
	英		
6	日	第 6 回 医師－患者関係	前半(1～7回)は、医療社会学の重要概念について、理論と具体例を交えながら講義を行う。
	英		
7	日	第 7 回 患者会と患者運動	前半(1～7回)は、医療社会学の重要概念について、理論と具体例を交えながら講義を行う。
	英		
8	日	第 8 回 マイノリティと代表性	後半(8～15回)では、医療にまつわる様々な問題を、その背後にある社会構造を踏まえて考えることを試みる。
	英		
9	日	第 9 回 現代における健康	後半(8～15回)では、医療にまつわる様々な問題を、その背後にある社会構造を踏まえて考えることを試みる。
	英		
10	日	第 10 回 若者のメンタルヘル スと生きづらさ	後半(8～15回)では、医療にまつわる様々な問題を、その背後にある社会構造を踏まえて考えることを試みる。
	英		
11	日	第 11 回 家族の中での病の経 験	後半(8～15回)では、医療にまつわる様々な問題を、その背後にある社会構造を踏まえて考えることを試みる。
	英		
12	日	第 12 回 社会における障害	後半(8～15回)では、医療にまつわる様々な問題を、その背後にある社会構造を踏まえて考えることを試みる。
	英		
13	日	第 13 回 死の社会学	後半(8～15回)では、医療にまつわる様々な問題を、その背後にある社会構造を踏まえて考えることを試みる。
	英		
14	日	第 14 回 全体のまとめ	後半(8～15回)では、医療にまつわる様々な問題を、その背後にある社会構造を踏まえて考えることを試みる。
	英		
15	日	※他に 1 回オンデマンド授業 感染症と社会	後半(8～15回)では、医療にまつわる様々な問題を、その背後にある社会構造を踏まえて考えることを試みる。
	英		

履修条件 Prerequisite(s)	
日	

英	
---	--

授業時間外学習（予習・復習等） Required study time, Preparation and review	
日	本講義に対しては、単位取得のために毎回 1 時間程度の予復習に充てる自己学習時間が必要である。
英	

教科書／参考書 Textbooks/Reference Books	
日	教科書は使用しない。 参考文献等については適宜紹介する。 授業全体を通して理解を深めるための参考文献としては、中川輝彦・黒田浩一郎 編著『よくわかる医療社会学（やわらかアカデミズム・わかるシリーズ）』を推奨する。 期末レポート作成にも役立つ内容となっている。
英	

成績評価の方法及び基準 Grading Policy	
日	1. 平常点（30％） 毎回、出席表を用いて出席確認を行なう。出席票を通して講義の感想や質問を収集し、理解度を図る（各回 2 点）。 障害や健康上の理由など、やむをえない事情によって以上の条件を満たせない場合は個別に相談すること。 授業開始から 20 分以上の遅刻、終了時刻 20 分以前の退席は出席とみなさない。 なお、授業中の私語、居眠り、授業内容に関係のない作業は減点対象である。 2. ミニテスト（20％） 講義内容に基づいた質問をコメントシートにて回答してもらう。 詳細については、授業
英	

留意事項等 Point to consider	
日	【オフィスアワー】 質問などに対しては、メールで受け付ける（メールアドレスは授業中にこちらから指定する）。 対面でのやりとりによって、授業に関連する内容の指導を希望する場合、授業時間の前後で対応する。 【学生へのメッセージ】 日常生活の中でも積極的に医療問題に対してのアンテナを立て、積極的に情報収集を行ってほしい。 期末レポート作成に向けて知見を深めるため、遅刻・欠席はなるべくしないこと。 障害や健康上の理由などにより授業において配慮が必要な場合には迅速に相談すること。
英	